



青南だより

令和6年7月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

もうすぐ七夕です。七夕は日本古来の「棚機つ女（たなばたつめ）」の風習と、中国古来の織姫彦星の「星伝説」、手芸や書の上達を願う「乞巧奠（きっこうでん）」の行事が結びついて今の形になったそうです。「棚機つ女」とは、水辺で神様のために衣を織る女性のことで、先祖の霊を祀る盆行事の一環（7月15日がお盆）として行われていたようです。

幼稚園では「七夕」の由来を子どもたちに話し、七夕飾りを作ります。年少組はのりを使って四角の折り紙をつなげ四角つなぎを作ります。年中組は折り紙を折ったり顔を描いたりして彦星や織姫を作ります。年長組は網や提灯など技術や根気を必要とする飾り作りに挑戦します。子どもたちが楽しく装飾作りに取り組めるようにし、飾りの意味を伝えていきます。

青南幼稚園は、国際理解の意識の芽生えを培う教育の充実を行っています。

※国際理解教育とは、互いの文化や考え方を知ることによって双方の「違い」を理解し、相手を尊重することで相互理解の態度を養う教育のことです。



・日本の伝統行事に関わる取組の充実を図る。

（港区立青南幼稚園 経営方針 令和6年度の取組の重点より）

広い視野をもち、異文化を理解し、それを尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく態度などを育成するためには、子どもたちに我が国の歴史や伝統文化などについての理解を深めさせることが極めて重要です。

本園は、子どもたちが日本の伝統・文化に触れることができるように、計画的に教育活動を行っています。様々な伝統行事では由来を伝え、子どもたちが行事に込められている人々の願いなどに興味や関心をもつことができるようにしています。日本が長い歴史の中で育んできた伝統や文化の豊かさに気付いてほしいと願います。また、日本の文化だけではなく異なる文化に触れる機会を作り、幼児の体験を豊かにし、将来、国際社会の一員として主体的に行動できるよう、社会とのつながりの意識や国際理解の意識を培います。

さて、昔、7月7日の「7」にちなんで、1日に7回水浴びをして髪を洗う風習がありました。お盆行事の始まりに身体を清めていたそうです。そこから「七夕に7回同じことをすると幸運がくる」という幸せなおまじないができたそうです。7月7日にお子さんと一緒に同じ歌を7回歌ったり、お子さんをぎゅっと7回抱きしめたり…、保護者の方に伝えたいおまじないです。

今学期も本園の教育へのご理解・ご協力ありがとうございました。
親子で楽しい夏休みをお過ごしください。

